

令和8年度全国学力・学習状況調査 東川町内の状況及び今後の改善方策

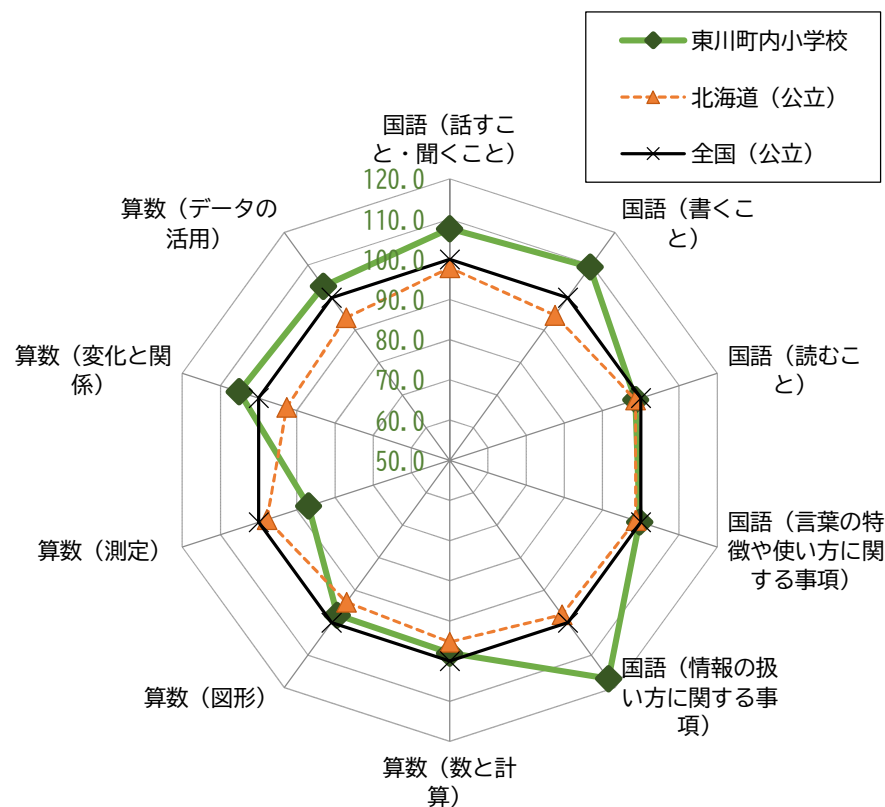
小学校数:4校、児童数:80人 中学校数:1校、生徒数:68人

○ 教科に関する調査の状況

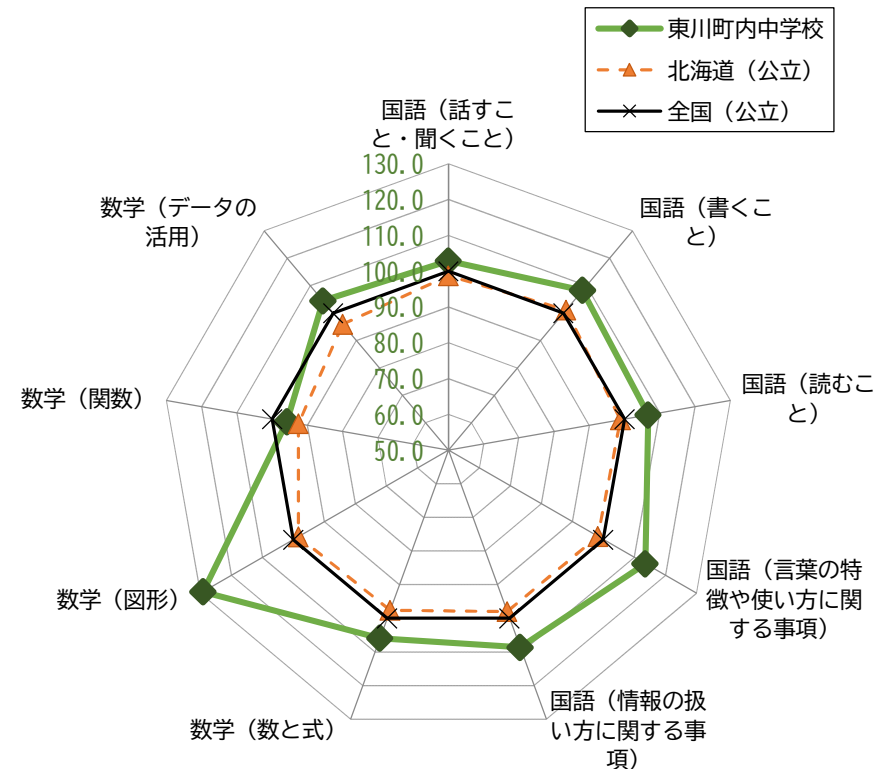
【レーダーチャート】

- ・教科の領域別に全国を100とした場合の全道及び市町村の状況をレーダーチャートで示したもの（市町村の平均正答率÷全国（公立）の平均正答率×100で算出）
- ・中学校英語の結果は、IRTスコアで表されるため、レーダーチャートに表示していません

小学校



中学校



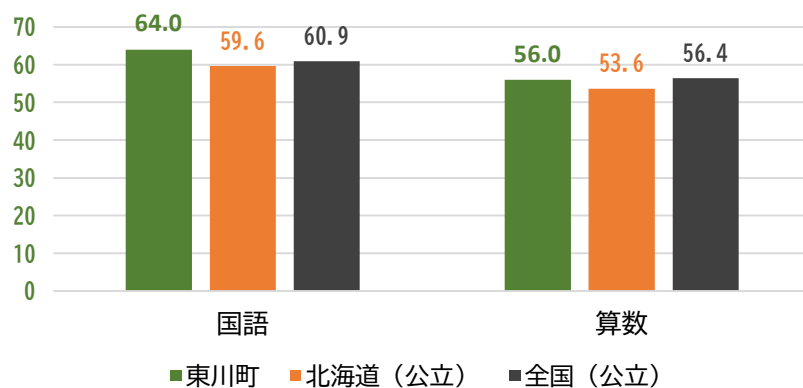
【平均正答率・平均IRTスコア】

※中学校英語は4技能（聞くこと、読むこと、書くこと、話すこと）の平均IRTスコア

	小学校		中学校		
	国語	算数	国語	数学	英語
東川町	64.0	56.0	69.0	62.0	536
北海道（公立）	59.6	53.6	63.3	55.0	490
全国（公立）	60.9	56.4	63.9	57.0	499

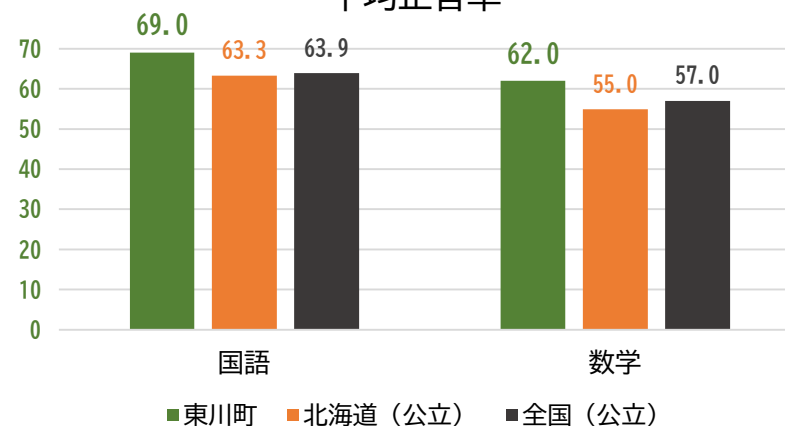
小学校

平均正答率



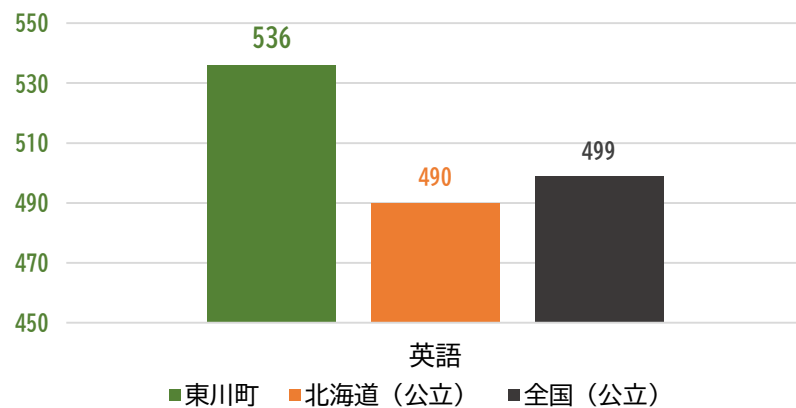
中学校

平均正答率



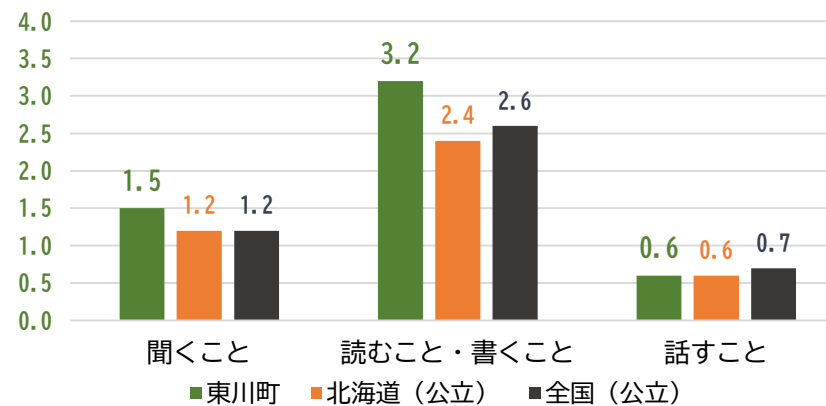
中学校（英語）

平均正答率



中学校（英語）

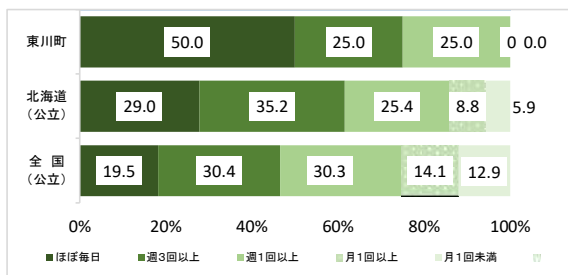
平均正答率



○ 質問調査の状況

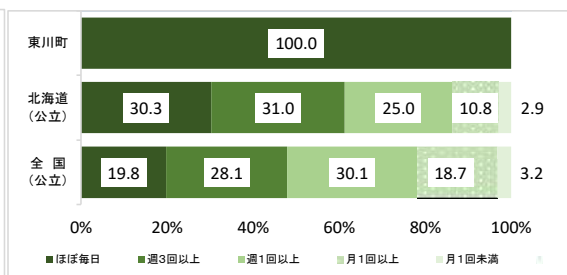
小学校 ＜学校質問＞

児童同士がやりとりする場面では、児童一人一人に配備されたPC・タブレットなどのICT機器をどの程度使用させていますか



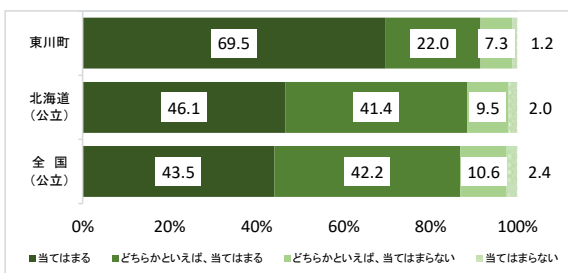
中学校 ＜学校質問＞

生徒が自分の考えをまとめ、発表・表現する場面では、生徒一人一人に配備されたPC・タブレットなどのICT機器をどの程度使用させていますか



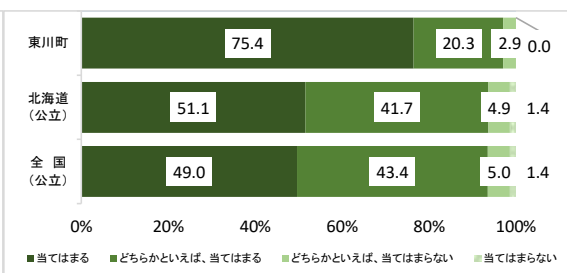
小学校 ＜児童質問＞

学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、新たな考え方に気付いたりすることができていますか



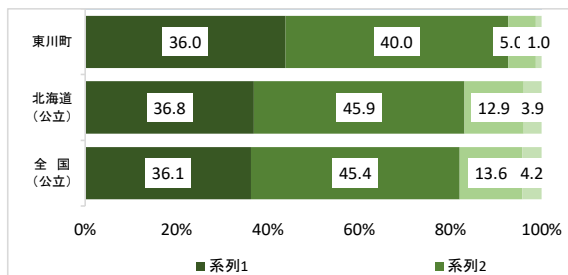
中学校 ＜生徒質問＞

授業や学校生活では、友達や周りの人の考えを大切にして、お互いに協力しながら課題の解決に取り組んでいますか

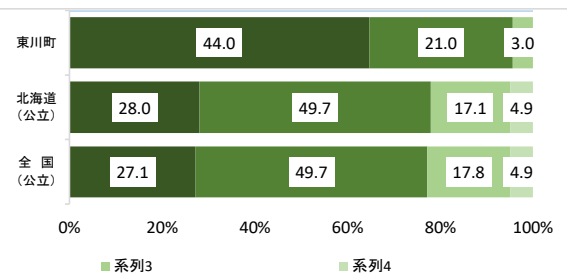


小学校 ＜児童生徒質問＞

国語の授業の内容はよくわかりますか

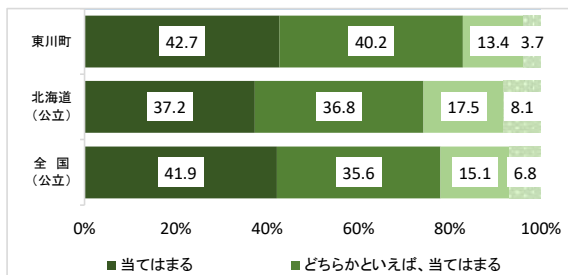


中学校

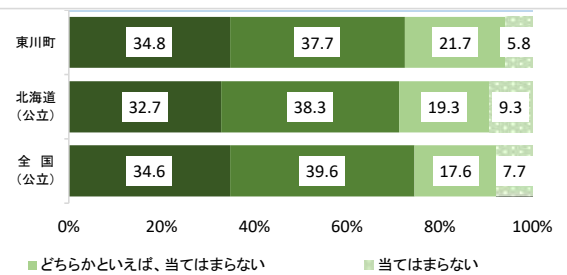


小学校 ＜児童生徒質問＞

算数〔数学〕の授業の内容はよくわかりますか

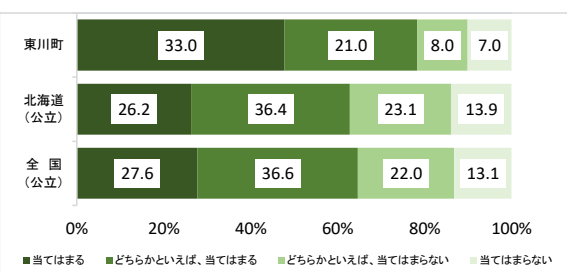


中学校



中学校 ＜生徒質問＞

英語の授業の内容はよくわかりますか



○ 調査結果の分析

・ 小学校

国語 平均正答率は64.0%で全道・全国を上回っている。「話すこと」「聞くこと」「情報の扱い」「言葉の特徴や使い方」は全国を上回る一方、「読むこと」に課題が見られる。また、国語の授業の内容はよく分かりますかという質問に「当てはまる」と回答した児童の割合は全国を下回っていることから、個々の理解度に応じた指導の充実が課題と考えられる。

算数 平均正答率は56.0%で全道を上回っている。「変化と関係」「データの活用」は全国を上回る一方、「測定」に課題が見られる。また、算数の授業の内容はよく分かりますかという質問に「当てはまる」と回答した児童の割合は全国を上回っていることから、授業での理解を確実な定着につなげることが課題と考えられる。

・ 中学校

国語 平均正答率は44.0%で、全道・全国を上回っている。「話すこと」「聞くこと」「読むこと」「情報の扱い」「言葉の特徴や使い方」すべての項目において全道・全国を上回っている。また、国語の授業の内容はよく分かりますかという質問に「当てはまる」と回答した割合は全道・全国を大きく上回っていることから、授業での理解を確実な定着につなげることができていると考えられる。

数学 平均正答率は62.0%で、全国・全道を上回っている。「数と式」「図形」「データの活用」は全国を上回る一方、「関数」に課題が見られる。また、数学の授業の内容はよく分かりますかという質問に「当てはまる」と回答した割合は全国をやや下回っていることから、個々の理解度に応じた指導の充実が課題と考えられる。

英語 平均IRTスコアは536で、全国・全道を上回っている。「聞くこと」「読むこと・書くこと」は全国を上回る一方、「話すこと」に課題が見られる。また、英語の授業の内容はよく分かりますかという質問に「当てはまる」と回答した割合は全国を上回っていることから、授業での理解を確実な定着につなげることができていると考えられる。

○ 今後の改善方策

・ 小学校

国語 「読むこと」に課題が見られる領域について、児童の理解度に応じた指導を行い、文章の内容を正確に読み取る力と、読み取ったことを基に考えを説明する力の育成を図る。

算数 「測定」等の課題が見られる領域について、児童の理解度に応じた指導を行い、基礎的・基本的な知識・技能の定着と、考えを説明する力の育成を図る。

全体 ICTを活用した話し合いや協働的な学習を継続し、児童の思考力・判断力・表現力等の育成を図る。

・ 中学校

国語 全ての領域で全国平均を上回っていることから、これまでの取組を継続するとともに、文章を正確に読み取り、根拠を明確にして自分の考えを表現する活動を充実させ、さらなる国語力の向上を図る。

数学 「関数」等の課題が見られる領域について、生徒の理解度に応じた指導を行い、表・式・グラフを関連付けて考察する力の育成を図る。

英語 東川町では、自国や地域の文化や伝統への理解を深めるとともに、異なる習慣や文化をもった人々と生きていくために「人間尊重の精神を基調とする国際性」を養い、「国際社会に通用するコミュニケーション能力」の向上を図ることができるよう「新教科Globe」の実践に取り組んでいる。英検IBA（中学校）では3年生が英検3級レベルに達するなど、英語の理解度と学習への興味・関心は極めて高い水準を維持している。「自分の考えを英語で書く」力の育成に向けた、個に応じた支援と指導の工夫が引き続き課題となっている。

全体 ICTを活用した発表・表現や協働的な学習を継続し、学習内容の理解を深める授業改善を図る。